



2015 年度 西宮サッカー協会審判トレセン報告

西宮サッカー協会審判委員会

2015 年 11 月 15 日に兵庫県立鳴尾高等学校で 2015 年度西宮サッカー協会審判トレセンを開催しました。

今回は、兵庫県立鳴尾高等学校サッカー部、兵庫県立西宮北高等学校サッカー部のご協力で昨年度に実施が出来なかった実技講習を取り入れることが出来ました。

また、「副審の任務」「主審の職権と任務」で審判員とインストラクターがプレゼンテーションを行いました。

西宮サッカー協会審判トレセンを開催に伴い施設を使用させて頂きました兵庫県立鳴尾高等学校、実技講習にご協力を頂きました鳴尾高等学校サッカー部、西宮北高等学校サッカー部の皆様にお礼申し上げます。また、お忙しい中、兵庫県サッカー協会から参加して頂きましたインストラクター部の皆様、西宮サッカー協会関係者の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

プラクティカルトレーニングの様子



参加者報告

(順不同・敬称略)

3級審判インストラクター：梅津 貴一

▽今回の審判トレセンの感想

皆さん、非常に真剣に取り組んでおり、正直、驚きました。今後、4種独自でも、このような形でのトレセンを実施していきたいと思います。

▽今回の審判トレセンで学んだこと

人に伝えるという難しさ。インストラクターとしての未熟さを痛感しました。更にステップアップしていきます！（もちろん、審判も同様に・・・）

2級審判員：浅岡 宏考

▽今回の審判トレセンの感想

今回、初めて西宮トレセンに参加させていただくにあって、どのような方々が参加されているのだろうと、とても興味を持って当日を迎えました。4種で指導者を普段やっている方々がほとんどの中、私は5年以上、4種に関わったことが無かったので、その点参加者の方々と溝が少しあったような気がします。（例えば、プレゼンや総括で8人制の話題を出すとか）1日しかないトレセンの日程の中でしたが、実技、プラクティカル、プレゼンと非常に内容の濃いトレセンだったと感じました。鳴尾高校と西宮北高校の練習試合をお借りしての副審30分、足元が悪かったですが、フィールドが普段より小さいぶん普段よりゴールラインへのスプリントにこだわってやろうと試合に臨みました。プラクティカルでは「試合中のペナルティーキック」のテーマで様々なシチュエーションでレフェリーはどう対応すべきかについてやりました。競技規則の内容をしっかりと覚えていないと、いざ違反が起きた時に正しく競技規則を施行することができないと改めて感じました。

午後はプレゼンで、私は「副審の任務」についてさせていただきました。審判関係でのプレゼンは初めてだったので、準備段階から「15分間で何をどのように伝えよう」といろいろ考えていました。しかし実際には、緊張もあり、プレゼン中に質疑応答が入ったりして、30分間のプレゼンになってしまいました。プレゼンをしっかりと時間内で収めることもスキルの一つということなので、この経験を糧にして次回どこかでプレゼンすることがあればしっかりとしようと思います。梅津さんのプレゼンでは、「主審の職権と任務」についてでしたが、競技規則に沿うだけでなく、「サッカーの歴史、レフェリーの歴史」の切り口からされていて、意表を突くものでとても関心をもって聞いていました。時間内に終わらせていたことも私との経験の差だと思い、自分の引き出しを増やすうえでとても勉強になりました。

1日を通して、どのセッションも収穫するものがあり、初めてお会いする西宮のレフェリーの方々とお話しすることができて、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、施設を貸して下さって実技などでも協力して下さった鳴尾高校の皆さん、西宮北高校の皆さん、そして今回、トレセンを設定して下さった西宮協会の皆さん、トレセン部から来て下さった藤井さん、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

今回のトレセンで得たことを今後の審判活動に活かして、日々スキルアップを目指していきます。

今後ともご指導、ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。

▽今回の審判トレセンで学んだこと

▶主審と副審のコーポレーション

- 主審が副審のシグナルに気づいていない時
- ファウルサポートすべき状況はどのような時か

▶副審の基本的な動作

- フラッグアップする手
- 身体の向き、ステップワーク

- ▶ペナルティーキックの時に主審が監視すべきこと
→どこにポジションをとるのがベストか
- ▶ペナルティーキックの時に違反が起きたらどう対応するべきか
→懲戒罰は必要かどうか。再開方法はどうか。
- ▶プレゼンの仕方
→参加者のレベルに合ったプレゼンをする
→時間配分を考える
- ▶サッカーの歴史
→上流階級の教育の一環だったこと
→審判が必要になったわけ、審判の役目

3級審判員：井上 克己

▽今回の審判トレセンの感想

- 1、PKのプラクティカルは、進め方は別として、勉強になりました。
- 2、ファウルの基準が、選手と合っていなかったと思います。

▽今回の審判トレセンで学んだこと

- 1、映像を通し、争点への寄りが遅れている事が、改めて分かりました。
→ 何故遅れているのか？をしっかりと考えていきたいと思います
- 2、様々な事象に対応する、引き出しが全く足りない
PKの事象ひとつでも、瞬時に判断・行動しなければならないが、出来なかった。

3級審判員：西條 豊

▽今回の審判トレセンの感想

実技とビデオを伴う講習というのが非常に効果的で有意義であった。

補足)当初は1日をかけての講習は実施側も受講側も時間的に「これはチョット大変」と受け止めていたが、受講してみて、実技があり、ビデオを取り、両者がフレッシュな題材を同時に共有して、参加者全員で、ビデオで審判員の動きやジャッジを振り返り、見方や感じたことを自由闊達に議論し、指南いただいたというのが、非常に効果的で、有意義であったと思う。もし、短時間で、実技が伴わないものであれば、通常の大勢での審判更新講習会のような実施側からのやや一方的な内容になると思われ、今回1日かけて実技を行い、ビデオを通じての自由な議論の場であったので、心身ともに「審判トレセン」に参加したとの実感を得ることができた。

▽審判トレセンで学んだこと

審判の基本はルールブックであり、ルールブックをしっかりと読むことの大切さを改めて学んだ。

補足)試合中のジャッジや審判の対応について、疑問に思っていること、判らないこと、間違っって記憶していることなどがあるが、それらの多くについて、ルールブックで説明されていることが改めて判った。疑問点があれば、まずはルールブックで再確認すること、上級者になればなるほどルールブックをしっかりと読まれていること、その基本の大切さを改めて学んだ。

3級審判員：松丸 知宏

▽今回の審判トレセンの感想

高校生のサッカーでボールが動く中、すばやく判断することを学びました。また、はっきりと反則を指し示すことが重要だと感じました。

▽審判トレセンで学んだこと

ゲームをコントロールするために注意をしながら、ゲームをつくっていく必要性、また、注意の際にはゲームの流れをとめてはいけないことを学びました。

▽今回の審判トレセンの感想

西宮サッカーDayに続き主審の指名を頂きました事、お礼申し上げます。

ありがとうございます。ゲームに関しては選手のスピード・パワー、ゲーム展開に於いて4種との違いを再認識致しました。(今回はグラウンド状態が不良でしたので早い展開が少なかったですが)他の審判員のファウル基準、ポジショニング等、自分との違いを確認し参考にする事が出来ました。また自身の割当に関しては先日、梅津 Ins より指摘のありました「次の展開を予測し、争点に近づく」事や「笛の強弱・長短」を意識しておりましたが、午後からの映像確認に於いて「移動のロス・争点に近づけていない」や「8人制・11人制の競技規則の混同」等、改めて課題の確認をする事が出来ました。PKでのケーススタディでは「起こりうる事」を予測し、対応する事の重要性の確認をしましたが「切り取った場面」ではなく「PK判定の笛～再開まで」を「ケーススタディ」として行った方がより実践トレーニングになるのでは？と感じました。

▽今回の審判トレセンで学んだこと

「競技規則」を覚え正しく運用する事、選手とコミュニケーションを取りゲームをコントロールする事主審・副審とのコミュニケーションの重要性。正しい判定を行うためのポジショニングや走力の重要性。

▽今回の審判トレセンの感想

初めての高校生試合での審判、2級・3級の方々の対応や試合に向けての準備等を見れたことや、自チーム以外の同じ4球審判の方々と話す機会もあって参加させて頂いて良かったと思います。

▽今回の審判トレセンで学んだこと

些細なファールが大きなファールに繋がる、ファーストファールの大事さ、主審と争点の微妙な位置とりと、競技規則を確認できて良かったと思います。

▽今回の審判トレセンの感想

参加するまでは、いろいろ不安でしたが、結果としては、参加して大変良かったと思っています。あいにくグラウンドコンディションは良くなかったですが(←実際はこのような日もありますので、むしろ良かったかも知れません)鳴尾高校や西宮北高校のご協力もあって、実技もできましたし、PKを想定したプラクティカルトレーニングも良かったと思います。また、普段から悩んでいたことを上級審判員の方々に質問できる機会にもなり、もやもやしていたことがクリアになりました。ありがとうございました。

▽今回の審判トレセンで学んだこと

私自身の癖が分かりました。副審の時、旗を左手で持ったりすることが多いのですが、オフサイドを示すときやコーナーを指すときにも、そのまま左手でやっているのがほとんどでした。今後は、かなり意識して右手で扱いたいと思います。また2級や3級の審判員の方の副審ぶりを拝見することで、良いところは是非真似したいと思いました。主審や副審の任務についても確認ができて良かったと思います。

▽今回の審判トレセンの感想

午前中の実技に対する反省会というスタイルは非常に良かったと思う。各位が気づいていない部分の指導を受け、それを第三者として聞いて学ぶ事で非常に勉強になった。今後、活用していきたい。

▽今回の審判トレセンで学んだこと

副審(A2)の実践の後、旗を斜めにあげる際に指を沿えてまっすぐにする事や、走るときは旗を振らないなど、注意点を具体的に指導いただき、色々勉強する事ができた。
又、主審を行う際、争点に出来る限り近づき正しいジャッジをする事が非常に重要である事を改めて認識する事ができた。